

💧 実火災を想定！屋内進入・検索救助訓練 💧

令和 8 年 8 月 26 日（水）・27 日（木）、嶺北消防組合消防本部では、解体予定の建物を活用し、実際に炎や煙を発生させた実火災想定訓練を実施しました。大阪・道頓堀で発生した火災において消防職員が殉職した事故を教訓に、当本部では、消防隊員の安全を確保するため、消防活動全般の見直しを進めています。

今回の訓練では、実際に炎や煙を発生させた環境の中で、屋内進入時の安全確保をはじめ、要救助者の検索・救助、隊員間の連携、退路の確保などの屋内進入要領について検証を行いました。また、本年整備した**熱画像直視装置**を活用し、**熱源となる火点の検索や、煙の中での要救助者の搜索**を行い、その有効性についても検証しました。

📷 訓練の様子



実際の炎・煙を発生させ、屋内進入と要救助者の検索・救助を検証



熱中症対策のためのアイスバス検証



評価員による評価

標準化検討委員による検証を行い、現場で実践できる安全な消防活動の確立につなげます。

安全を最優先に、実戦的な訓練と検証を積み重ね、災害対応力の向上を目指します。